

青木幸保氏が再選

任期満了に伴う平泉町長選挙は7月31日に告示され、青木幸保氏の無投票での再選が決まりました。8月5日、当選証書付与式で町選挙管理委員会から当選証書が手渡され、8月27日から4年の任期で平泉町長に就任しました。



あおき ゆきお
平泉町長 青木 幸保

【PROFILE】
1954年平泉町生まれ。72年水沢農業高校卒業。88年4月より町議会議員。町議会議長、岩手県町村議会議長会会長などを歴任。2014年平泉町長選挙で初当選。就任後は町民総参加のまちづくりの実現に努めてきた。趣味は溪流釣り。平泉町長島字前林在住、64歳

任 次代を担う若者たちが 就 あいさつ 希望と誇りを持てるまちづくりを

町民の皆さま、私は8月27日付で2期目の平泉町長に就任いたしました青木幸保でございます。このたび再び町長の重責を担うに当たって、今後の町政運営に対する考え方について、私の所信の一端を申し述べさせていただきます。

1期目の4年間は、農業に例えるならば、畑を耕し、種をまいた段階と表現してまいりました。まちの主役である町民と行政との距離を縮め、町民総参加のまちづくりを行うことを掲げ、そしてこのたび、今後さらにも推進することをお約束いたしました。これからも町職員と共に、町民と直接対話する地域懇談会や若者会議を開催しますし、私自身も議会は当然のこと、さまざまな場を捉えて多くの方々からのご意見などに耳を傾けて、町民総参加のまちづくりを進めてまいります。

人口減少対策につきましては、景気が徐々に向上し、地方創生の名の下、企業が地方へと進出を始めた今こそ、積極的に企業誘致に取り組み、働く場を確保し、Uターンする若者呼び込むことに努めてまいります。

高齢者福祉につきましては、いきいき百歳体操の推進とともに高齢者が元気に明るく暮らせる生活支援体制づくりを進めてまいります。

平泉町は、非常にコンパクトな町ですが、その特性をメリッ



当選証書を受け取る青木氏

トに変えていきます。例えば全行政区を回っての地域懇談会、毎年400人を超える町民が集って開催される新年交歓会などは、平泉町でなければできない取り組みと言えます。この町民と行政の相互の「顔」が見える関係性こそは、当町の大きな魅力の一つだと考えております。今後もこの魅力を最大限に生かしていく所存です。

このたびの立候補を通して、たくさんの方々の声から多くのご意見を頂戴いたしました。私は、町民と行政の対話を大切にし、一緒にまちづくりができる環境づくりを目指します。

明日の平泉をつくる主役は町民です。次代を担う若者たちが希望と誇りを持てるまちづくりを、全力を尽くします。

これが私の2期目の平泉町長としての決意です。今後とも町民の皆さま方のお力添えをお願い申し上げます。

187点中
24点が入賞

笑顔あふれる明るい町に「社会を明るくする運動」標語入賞作品

平成30年度「社会を明るくする運動」の一環として、次代を担う平泉中学校の全生徒を対象に標語の募集を行いました。応募いただいた187点を審査した結果、次の24点が入賞しました。おめでとうございます。(敬称略)

- 【最優秀賞】**
あいさつは 豊かな町への 第一歩
明るい社会 差別の「壁」を取り壊そう！
「ありがとう」 人を繋げる 合言葉
- 【優秀賞】**
響かせよう 町民皆の 明るい声
『ただいま』と 笑顔で言える 世の中に
明るい社会 未来をてらす だいいっぱ
つくるう！ ひびかせよう あいさつの町
やめようと 止める勇気が 思いやり
あいさつは 犯罪防止の 第一歩
- 【優良賞】**
ちよつとの誘惑 大きな代償
君の一步で 社会はかわる
毎日あいさつ 明るいえがお
家族で話そう 笑顔のあふれる社会
ルール守って 気持ちすっきり
ダメな事を ダメと言え 人になろう
互いを思い合う心こそ 明るい社会への 道しるべ
笑顔たくさん 街へいらっしやい！
みんなでつなごう 犯罪防止の 達輝
悪魔の手 はらいのける 正義の心
あいさつで つながる地域 平和の輪
やめようと いえる気持ちを 自分から
ちよつと待て！ 自分の心に ストップを！
よく考えよう その行動は 大丈夫？
「こんにちは」 その一言で 非行防止
- | | |
|----------|------------|
| 伊藤 遙(1年) | 千葉 龍羽(1年) |
| 菅原 空(2年) | 千葉 しおり(1年) |
| 安部 凜(3年) | 金子 若菜(2年) |
| | 高橋 さくら(2年) |
| | 小野寺 美歩(3年) |
| | 佐々木 海真(3年) |
| | |
| | 菅原 葵(1年) |
| | 石川 嶺央(1年) |
| | 菅原 勇気(1年) |
| | 笠原 愛莉(1年) |
| | 小野寺 日和(2年) |
| | 島山 美園(2年) |
| | 菅原 日來(2年) |
| | 千葉 心寧(2年) |
| | 千葉 優良(2年) |
| | 島山 泰知(3年) |
| | 藤原 望人(3年) |
| | 菅原 優(3年) |
| | 菅原 花(3年) |
| | 千葉 奈緒(3年) |

和歌山県田辺市などを訪問し、現地児童と交流

平成30年度黄金平泉情報発信プロジェクト活動
8月1日から4日までの3泊4日の日程で、町内児童5・6年生15人が参加し、黄金平泉情報発信プロジェクト(町教委主催)を開催しました。

本事業は、県外の児童との交流を通じて、他地域の地域学習の取り組みを学び、社会性を身に付けながら平泉の価値・魅力を積極的に発信する力を養うことを目的に本年度から新たにスタートした事業です。

今回訪れたのは、当町と姉妹都市の関係にある和歌山県田辺市。田辺市は、世界遺産「熊野古道」熊野本宮大社などを有しており、その文化遺産を活用した学習プログラムとして、現地児童を対象とした「語り部ジュニア」の育成に積極的に取り組んでいます。



語り部ジュニアによる熊野古道ガイド



紀伊田辺駅で弁慶がお出迎え

現地では、両市町の姉妹都市のきっかけとなった「武蔵坊弁慶」の地巡りを始め、語り部ジュニアのガイドの下、約5キロの熊野古道を実際に歩いてきました。

古道歩きの後には、2日間の事前研修で準備、作成した紹介パネルを使って、平泉の情報発信を行い、現地児童との交流を深めました。

参加した児童は、本研修を通じて平泉と田辺のつながりを学ぶとともに、集団行動や基本的な社会のルールについても学び、日を追うごとにたくましく成長していきました。